

地域内の自給飼料の生産・利用拡大を目指して

～令和5年度 第1回安房地域耕畜連携連絡会議～

安房農業事務所改良普及課 令和5年6月13日発

近年の飼料費高騰により国産飼料の需要が高まっていますが、安房地域では十分な量を確保することができていません。当事務所では、令和4年度から耕畜連携を推進するために関係者を参集した会議や視察を行い、課題の整理や今後の方向性を検討してきました。6月5日に開催した耕畜連携連絡会議では、水稻農家、畜産農家、コントラクター、各関係機関等、計33名が出席し、今年度の稲 WCS の収量・品質の向上に向けた取り組みを確認しました。今年度はモデル地区2か所で、ほ場審査を行います。

また意見交換では「需要に対しての飼料作物の生産者が少ない」「収穫を請け負うコントラクターが不足している」等の問題が挙がり、畜産農家からは「飼料用米を活用したい」「堆肥散布について地域住民の理解醸成が必要」といった意見もありました。

今後も意見交換を行い、耕畜連携による地域内飼料の生産・利用拡大を目指します。



市役所から活動報告がありました。



意見交換で今後の課題が見えてきました。